

# 魔王と3人の子どもたち

～この島は私たちが守る～



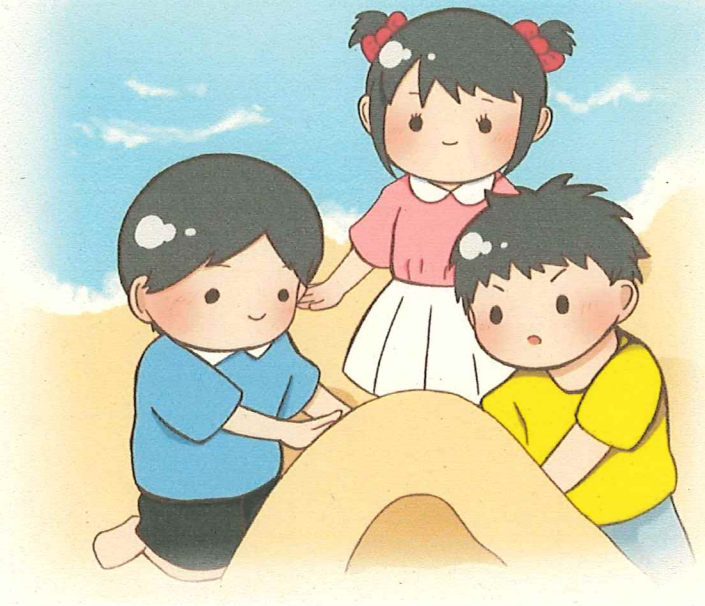
【P1】

かみごとう ちい まち  
上五島 という 小さな町に

りぼんちゃん ひらくくん らいあくんの<sup>なかよ</sup>仲良し<sup>にんぐみ</sup>3人組がいます

にん 3 <sup>かみごとう</sup>  
人が住む 上五島は

すきとおった<sup>うみ</sup>海と <sup>くうき</sup>きれいな空気が <sup>だい</sup>大の<sup>じまん</sup>自慢です



【P 2】

3人の家の近くには 上五島のことを

よく知っている おばあちゃんが住んでいます

3人は そんなおばあちゃんの話<sup>はなし</sup>をきくのがだーいすき

『今日は 始<sup>はま</sup>派<sup>はま</sup>に遊<sup>あそ</sup>び行<sup>い</sup>こーで！

そん後は ばあちゃん家<sup>い</sup>に行<sup>い</sup>こー！』



【P3】

「蛤浜<sup>はまぐりはま</sup>についたよ!」「いつ見てもきれいかね!」

「家<sup>いへ</sup>からか<sup>も</sup>んこ<sup>も</sup>ろ餅<sup>もち</sup>ば持<sup>も</sup>ってきたばい!いつ食<sup>た</sup>べてもおいしかね!」

モグモグモグ ポイッ

らいあくんは 食<sup>た</sup>べ終<sup>お</sup>えたか<sup>も</sup>んこ<sup>も</sup>ろ餅<sup>もち</sup>の袋<sup>ふくろ</sup>を

浜<sup>はま</sup>へ捨<sup>す</sup>てました

「ゴミ<sup>ごみ</sup>ば捨<sup>す</sup>てたらだめばい!」

りぼんちゃん<sup>ちゅうい</sup>が注<sup>しゅ</sup>意<sup>い</sup>をしたその瞬<sup>しゅん</sup>間<sup>かん</sup>

ゴミ<sup>ごみ</sup>が砂<sup>すな</sup>浜<sup>はま</sup>の奥<sup>おく</sup>の方<sup>ほう</sup>へと風<sup>かぜ</sup>で飛<sup>と</sup>んでいってしまいました

ひらくくんは 言<sup>い</sup>いました

「あん奥<sup>おく</sup>には ざあまにゴミ<sup>ごみ</sup>のあっけん よかったい!」



【P4】

3人は蛤浜で遊んだ後

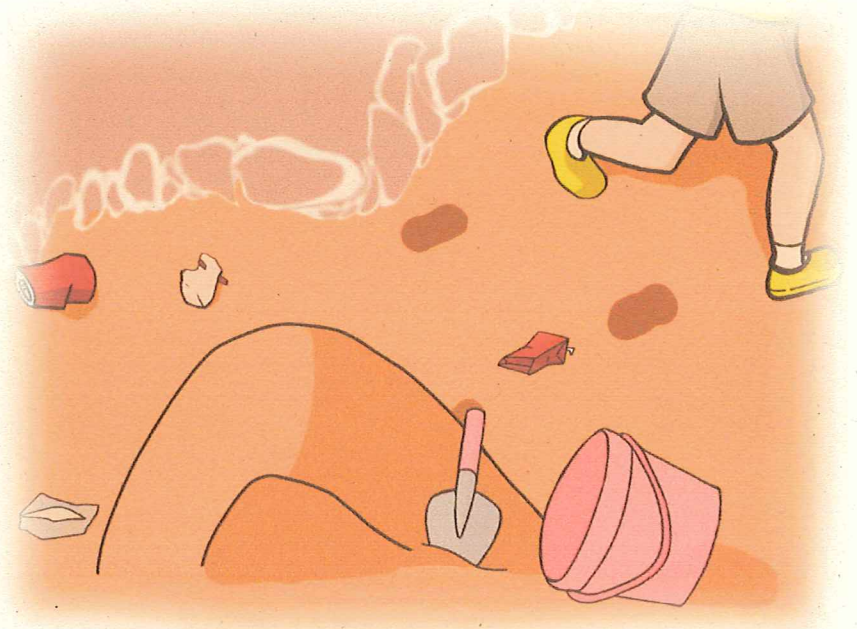
おばあちゃんの家に行きました

話に夢中になっていたら あっという間に夕暮れ時

『ばいばい またあした』

さっきまで遊んでいたおもちゃもすっかり忘れて

帰ってしまいました



【P5】

翌朝 3人は 蛤浜へ遊びに行こうとしていると…

とつぜん 目の前に 魔王が現れました

「きのん夜は うんどんがせいで

きれか海ば見らえんかったやん！」

怒った魔王は 上五島の素敵な

自然を汚してしまう とってもおそろしい呪いをかけました



【P6】

3人は自分たちが捨ててしまったゴミや遊んでいた

おもちゃを大慌てで片づけに行きました

「ごめんなさい！ちゃんとなおしたけん許して！」

「こんままじゃ息の苦しかよ！！」

「砂ぼこりで前の見えんばい！」

ただでおこった魔王はそう簡単には許してくれませんでした

困った3人はおばあちゃんに相談に行きました



【P7】

3人の話を聞いたおばあちゃんは 言いました

「魔王はどげんしてこがんに腹ばいかいちよるっち思う？」

魔王が大切にしているもんば うんどんが

大切にしちよらんけんじゃなかつたか？」

りぼんちゃんは気が付きました

「あっ！わかった！私たちって… 自分たちが捨てたゴミしか拾っとらん！」

魔王が大切にしている海ば私たちが大切にしたらんけん魔王は悲しんだままたいね」





【P8】

3人はもう一度謝るために魔王に会いに行きました

「砂浜綺麗にしてきたよ！」

「ずっと汚い砂浜にして っごめんなさい」

「魔王が大切にしちる上五島の海ば こいからはおいたちがまもっけん！！」



【P9】

あたりが一瞬<sup>いっしゆん</sup>ピカッと<sup>ひか</sup>光り<sup>かみごとう</sup>上五島<sup>すてき</sup>の<sup>しぜん</sup>素敵な<sup>もと</sup>自然が戻ってきました

そして いつの間にか<sup>ま</sup>魔王<sup>まおう</sup>はいなくなっていました

それと<sup>どうじ</sup>同時に<sup>かいら</sup>きれいな<sup>か</sup>貝殻<sup>が</sup>が置かれていました

「きつと、<sup>まおう</sup>魔王<sup>あく</sup>からの<sup>もの</sup>贈り物<sup>ばいね</sup>ばいね！」

3人<sup>にん</sup>は<sup>ほほえ</sup>微笑<sup>あ</sup>み合<sup>かいら</sup>って、<sup>ひと</sup>貝殻<sup>ひとつ</sup>を一つずつ拾<sup>ひろ</sup>いました。



【P10】

それから3人は自分のおもちゃを片付けて帰るのはもちろん

自分が捨てたゴミでなくても進んで拾うようになりました

3人と魔王が出会ったお話は上五島全体に広まり

誰かが大切にしているものを大切にしようという気持ちを

みんなが持つようになりました



【P11】

今<sup>いま</sup>だけでなく この先<sup>さき</sup>もずっと

上五島<sup>かみごとう</sup>は 素敵<sup>すてき</sup>な自然<sup>しぜん</sup>と 思いやり<sup>おも</sup>に満ち<sup>み</sup>た町<sup>まち</sup>になっていくでしょう。

## 【絵本で登場する人物をご紹介します】

登場人物の仲良し3人組の名前は、中五島高校ビジネスキャリアコースが運営する模擬会社1代目～3代目の会社名から命名しています。中五島高校では、地域の人口減少により2019年度に商業科が閉科となってしまいましたが、それにあわせて普通科でも商業科目を学べるビジネスキャリアコースが誕生しました。3年次に模擬会社を設立し、1年間運営しながら、商品開発・販売実習などを通して、地域と関わりながら実践的にビジネスを学んでいます。



### ー りばんちゃん ー

名前の由来：模擬会社Reborn (1代目)

\*会社名に込めた願い\*

失敗を繰り返しながら生まれ変わっていく

\*性格\*

何事にも前向きで可愛い女の子



### ー ひらくくん ー

名前の由来：模擬会社飛楽 (2代目)

\*会社名に込めた願い\*

本当の自分を出せるようにみんなと成長していく

\*性格\*

周りに流されやすいが根はまじめ



### ー らいあくん ー

名前の由来：模擬会社LightUp (3代目)

\*会社名に込めた願い\*

私たち高校生の元気を上五島みんなに伝える

\*性格\*

元気いっぱいのやんちゃ小僧



### ー おばあちゃん ー

\*性格\*

上五島のことをよく知っていて、どんな子も

可愛がってくれる知識豊富なおばあちゃん



### ー 魔王 ー

\*性格\*

怒るとちょっと怖いけど実はきれいな砂浜や

海に映る星空が大好きなロマンチストの魔王

## 【絵本で登場する食物・地名をご紹介します】

### かんころ餅

長崎県の五島列島を代表する郷土菓子の一つです。



“かんころ”とは、五島地方の方言でサツマイモを薄くスライスして日干ししたものをいいます。

もち米とかんころを混ぜて作った郷土菓子です。

世代を越えて愛されている郷土菓子で、季節を問わず

地元でも食べられています。観光客にもお土産として

大人気で上五島を代表する特産品にもなっています。

はまぐりはま

### 蛤浜海水浴場

五島列島と言えばキレイな海！



キレイな砂浜が一面に広がり、水面に光る太陽の光が何とも言えない絶景！一度見たら忘れられない眺めです。

また、遠浅の海で、子どもも遊びやすく、新上五島町で一番人気のある海水浴場となっています。

夏には観光客の方が多く訪れる人気スポットです。

【五島列島 方言の解説】

方言	共通語	例文 (方言の使い方)	訳 (共通語)
あっけん	あるから	かんころもちのあっけん、食べてよかよ。	かんころもちがあるから、食べても良いよ。
あん奥	あの奥	あん奥には、きれか自然が広がっとるよ。	あの奥には、綺麗な自然が広がっているよ。
行こーで	行こうよ	蛤浜に遊びに行こーで。	蛤浜に遊びに行こうよ。
うんどん	お前 (あなた) たち	うんどんのおかげで、楽しめたばい。	あなたたちのおかげで、楽しめたよ。
おいたち	俺 (僕) たち	おいたちが守っけん!	僕たちが守る!
～がせいで	～のせいで	おいたちがせいで、こがんことになってしまった。	僕たちのせいで、こんなことになってしまった。
きのん	昨日の	きのん夜にお祭りのあったとよ。	昨日の夜にお祭りがあったよ。
きれか	綺麗	上五島の海はきれかばい。	上五島の海は綺麗だよ。
こいから	これから	こいからはおいたちが守っけん。	これからは僕たちが守るね。
こがんに	このように	こがんにするとたい。	このようにするんだよ。
こんままじゃ	このままじゃ	こんままじゃ汚れたままやね。	このままじゃ汚れたままだね。
～しとらんけん	～してないから	勉強しとらんけんテストが心配。	勉強をしていないからテストが心配。
～じゃなっか?	～じゃないの?	休みじゃなっか?	休みじゃないの?
その後	その後	その後遊びに行こー!	その後遊びに行こう!

方言	共通語	例文 (方言の使い方)	訳 (共通語)
～たいね	～よね	もう、ご飯は食べたたいね。	もう、ごはんは食べたよね。
どげんして	どうして	どげんしてそがんなったと??	どうしてそうなったの!?
なおした	片付けた	お皿ばなおしとって。	お皿を片付けておいて。
～しちよる	～している	釣りばしちよったよ。	釣りをしてたよ。
～しとって	～しておいて	ゴミば出しとって。	ゴミを出しておいて。
腹かいちよる	怒っている	なんで腹かいちよと?	どうして怒っているの?
～ば	～を	そっばとって。	それを取って。
ばあちゃん家(が)	おばあちゃんの家	ばあちゃん家に行っか。	おばあちゃんの家に行こう。
～ばい	～だよ	持っとるばい。	持っているよ。
捨っとらん	捨てていない	ゴミば捨っとらんじゃん。	ゴミを捨てていないじゃないか。
見えん	見えない	前が見えん。	前が見えない。
見られんかっ たやん	見ることができな かったじゃないか	かっこよか姿ば見られんか ったやん。	かっこいい姿を見ることができな かったじゃないか。
～もんば	～ものを	甘かもんば食べたか。	甘いものを食べた。
よかつたい	良いよ	そいで良かつたい。	それで良いよ。

このものがたりは、生まれ育った町へ感謝の気持ちを持つことの大切さと、  
地域を守らなければいけない責任を伝えるために、制作されたものです。

上五島では高齢化・過疎化が急激に進んでいる課題があり、  
「自分たちの町は自分たちで守る」という意識を持ち、高校生が日々励んで  
います。このものがたりを読んでくださった一人ひとりが、自分の故郷を  
大切に思う気持ちを深めてくださることを願っています。

「人に迷惑をかけない」という、今の日本の文化から  
「人は一人では生きていけない。だから迷惑をかけてでも、人に相談する。頼る。  
そして、困っている人がいたら、必ず手を差し伸べる」  
そんな、時代が変わっていきますように…。

# まおう<sup>ま</sup>と3<sup>にん</sup>の子どもたち

しま<sup>しま</sup> わたし<sup>わたし</sup> が<sup>まも</sup>る

## ～この島は私たちが守る～

2022年 2月17日 第1刷発行 「小さな町のものがたり」

2022年12月 7日 第2刷発行 「小さな町のものがたり」の改訂版を制作

「魔王と3人の子どもたち～この島は私たちが守る～」

作 模倣会社Reboron、模倣会社飛樂、模倣会社Light Up  
絵 ひなた (模倣会社Light Up)  
発行者 長崎県立中五島高等学校 ビジネスキャリアコース  
〒 853-2303  
発行所 長崎県南松浦郡新上五島町宿ノ浦郷162-1  
電話番号 0959-44-0265  
印刷所 米屋印刷所  
製本所 昭和堂